

第3学年 英語科学習指導案

| | |
|-----|------------------------|
| 日 時 | 平成29年10月31日（火）第5校時 |
| 学 級 | 3年2組（男子16名，女子15名，計31名） |
| 場 所 | 南舎2階 3年2組教室 |
| 授業者 | 松岡 篤志，Daniel Vandiver |

1 単元名 Unit 5 Living with Robots --- For or Against

2 指導の立場

(1) 単元・題材について

本単元の主なねらいは、相手の意見を受けて自分の考えを述べながら、議論することができることである。また、単元で扱う言語材料は、分詞を伴った後置修飾と間接疑問である。それらを用いることで、人やものについて情報を加えて説明したり、疑問詞を使って、自分が何かを知っているなどと述べたりすることができる。対話や議論の内容に注意を向けながら、これらの言語材料の用法も習得させたい。生徒はこれまでに、I think ~を使って自分の考えを述べることや、I'm for ~ because ... を使って自分の立場を明らかにして意見を伝えることを学んでいる。本単元で表現の幅をさらに広げ、議論するスキルを高められるようにしたい。

本単元では、わたしたちの生活の中に入ってきている様々なロボットたちの活躍ぶりを知り、将来ロボットと人間とでどのような暮らしが行われていくのか、ロボットが人間を助けてくれる面と機械であるがための不安な一面などについて議論が展開される。英語で議論する上で役立つ基礎的・基本的な知識や表現などを習得させ、様々なトピックについて、生徒にも実際に議論させたい。

(2) 生徒の実態について

前期の英語学習に関するアンケートを行い、前期の学習を通して、以下のそれぞれの力が向上したと思うかと思う理由をたずねた。

- ・聞く力（英語を聞いて内容を理解したり、適切に応じたりすること）
- ・話す力（会話をしたり、自分の意見や知っていることについて相手に伝えたりすること）
- ・読む力（音読したり、英語を読んで内容を理解したりすること）
- ・書く力（文字を正しく使ったり、自分の考えや気持ちなどについて英語で書いたりすること）

読む力（音読したり、英語を読んで内容を理解したりする力）が向上したと思う生徒が 89%であったのに対し、話す力については 61%に留まった。「音読がたくさんできた」「使われている文法などを正しく理解したり、周りの文とつなぎ合わせて読んだりできるようになった」「たくさん英語を読む時間があり、読んでいくうちに覚えられた」といった意見があった。話すことや書くことについては苦手と感じている生徒が多い。音読を通して、教科書本文中に使われている基本表現を習得し、それらの表現を使って発話する力につなげていくことで苦手意識を克服できる生徒を育てたい。

| | はい | いいえ |
|-----|-----|-----|
| 聞く力 | 68% | 32% |
| 話す力 | 61% | 39% |
| 読む力 | 89% | 11% |
| 書く力 | 57% | 43% |

<アンケート結果>

(3) 指導にあたって

生徒は、英語で話す力が十分付いていると感じていないことから、英語で話す機会を授業内に位置付け、豊富な経験を積むことで、英語で発話することに慣れたり、使える表現を増やしたりできるようにする。Small Talk を授業の冒頭に位置付けるようにし、様々なトピックについて即興で話すスキルを

伸ばせるようにする。また、議論や意見陳述で使えるフレーズを学び、使う練習を豊富に行う。多くの生徒が肯定的にとらえている読む力をさらに向上させるために、音読練習を継続的に行っていく。

3 研究主題「できる・分かる喜びを自信に変えて学び続ける生徒の育成」とのかかわり

【研究内容1】 終末の10分の持ち方を工夫する

終末の10分は、学習内容を振り返る問題や課題を行い、本時に学習したことをアウトプットする場として位置づけている。問題は、新出単語や重要表現、文法を確かめられるものを行っている。課題は、学習内容に合わせ、ペアで本文の音読を聞き合ったり、Q&Aを行ったりしている。本時は、ペアでロボットの特徴を相手に伝える活動を行うことで、生徒が本時の学習内容を活用できるようにしたい。また、自己評価する項目をつくり、本時学習でわかったことやできたこと、わからないことや不安なことを明らかにし、個々の生徒に対して指導できるようにする。

【研究内容2】 できた・分かったと生徒が実感できる教師の働きかけを工夫する

教科書を扱う際、本文の音読を丁寧に指導してきた。多様な読み方に段階的に取り組むことで、読む力の向上に努めてきた。例えば以下のようなものである。

- ・ Silent Reading (黙読)
- ・ Strawberry Reading (1語読み)
- ・ Choral Reading (一斉読み)
- ・ Buzz Reading (個人読み)
- ・ Roll Play Reading (役割読み)
- ・ Japanese-English Reading (通訳読み)
- ・ Read & Look up (教科書を見ない)
- ・ Shadowing (追っかけ読み)
- ・ Blank Reading (虫食い読み)
- ・ Phrase Reading (フレーズ読み)
- ・ Reading Race (音読競争)

特に、Buzz Readingの場面を大切にしたい。上位の生徒には速く読むことを課題とし、下位の生徒には確実に読めるように取り組ませた(フリガナ付きの補助シートを全員に配付)。本時も音読する時間を確保し、様々な方法で練習を行う。

音読を丁寧に指導することで、インプットからインテイク(取り込み)へとつなげ、アウトプットへの準備ができる。インテイクしたものをアウトプットする機会を意図的に設けることで、話す力へとつなげられるように指導していきたい。また、ペアで話をする前に、教師がデモンストレーションをしたり、全体へ話題を投げかけたりすることで、生徒が活動の仕方を理解し、活動に必要な表現を確かめられる場を設ける。

4 単元指導計画

単元の目標

○「ロボットとの暮らし」というテーマについて、相手の主張に関わらせながら、根拠をもとにして自分の考えを話すことができる。

単元指導計画（全12時間） ※評価基準内の口は、終末の10分について記載

| 時 | ねらい | 学習活動 | 評価規準 |
|---------|---|--|--|
| 1 | オリエンテーション モデル対話を聞く活動を通して、「ロボットとの暮らし」についての議論への見通しをもつことができる。 | ① Small Talk ② Oral Interactive Introduction トピックに対する自分の考えを、相手の主張に関わらせながら伝えよう ③ 内容理解 ④ 議論する ⑤ 議論に必要な表現を学ぶ(肯定的意見と否定的意見を両面から考える) ⑥ 振り返り | 単元の終末で取り組む言語活動について理解し、目指す姿をもつことができる。ディスカッションに必要な表現を理解することができている。 ・振り返りの記入 |
| 2 | 5-1 Starting Out 英語新聞に掲載された珍しい和太鼓の演奏の紹介記事の内容を理解し、感想を述べるができる。 | ① Small Talk ② Oral Interactive Introduction 英語新聞の記事を読み取り、感想を伝えよう ③ 新出語句やフレーズの練習 ④ 内容理解 ⑤ 本文の音読練習 ⑥ Q&A ⑦ パートナーに記事に対する感想を伝える ⑧ 振り返り | 英語新聞の記事の内容を理解し、それに対する感想を話すことができている。 ・感想を伝える ・振り返りの記入 |
| 3 | 文法「後置修飾」 現在分詞や過去分詞の後置修飾の用法を理解し、正しく英文を作ることができる。 | ① Small Talk ② Oral Interactive Introduction 現在分詞と過去分詞を使った後置修飾の用法を使ってクイズをつくらう ③ 全体で基本練習 ④ 例にならってクイズをつくる ⑤ グループでクイズを出し合う ⑥ 全体でクイズを交流する ⑦ 確認問題と振り返り | 現在分詞や過去分詞の後置修飾の用法を理解し、正しく英文を作ることができる。 ・確認問題 ・振り返りの記入 |
| 4 本時 | 5-2 Dialog 教科書の対話内容を理解し、ロボットの特徴についてわかりやすく伝えることができる。 | ① Small Talk ② Oral Interactive Introduction 二人が話題にしているロボットができることを読み取り、ロボットの特徴を相手にわかりやすく伝えよう ③ 新出語句やフレーズの練習 ④ 内容理解 ⑤ Q&A ⑥ 本文の音読練習 ⑦ パートナーにロボットの特徴について伝える ⑧ 振り返り | 教科書の対話内容を理解し、ロボットの特徴についてわかりやすく伝えることができている。 ・ロボットの特徴を伝える ・振り返りの記入 |
| 5 | 文法「間接疑問文」 間接疑問文の用法を理解し、正しく英文を作ることができる。 | ① Small Talk ② Oral Interactive Introduction 間接疑問文の用法を理解しよう ③ 文法の確認 ④ 全体で基本練習 ⑤ ペアで疑問詞を含む疑問文を間接疑問文に言い換える練習 ⑥ 確認問題と振り返り | 間接疑問文の用法を理解し、正しく英文を作ることができる。 ・確認問題 ・振り返りの記入 |

| | | | |
|----|---|--|---|
| 6 | <p>5-3 Read & Think 1 「ロボットとの暮らし」についてのディーパと光太の考えを理解することができる。</p> | <p>① Small Talk ② Oral Interactive Introduction 「ロボットとの暮らし」についてのディーパと光太の考えを理解しよう ③ 新出語句の練習 ④ 文法の確認 ⑤ 内容理解 ⑥ 本文の音読練習 ⑦ 確認問題と振り返り</p> | <p>「ロボットとの暮らし」についてのディーパと光太の考えを理解することができる。</p> <p>・確認問題 ・音読 ・振り返りの記入</p> |
| 7 | <p>5-3 Read & Think 1 「ロボットとの暮らし」についてのディーパと光太の考えに対して自分の意見を述べるができる。</p> | <p>① Small Talk ② Oral Interactive Introduction ディーパと光太の考えに対して、自分の考えを伝えよう ③ ディーパと光太の考えの復習 ④ 自分の意見を関わらせる表現の確認 ⑤ 自分の意見をもつ ⑥ グループで議論する ⑦ 振り返り</p> | <p>「ロボットとの暮らし」についてのディーパと光太の考えに対して自分の意見を述べるができる。</p> <p>・意見を伝える ・振り返りの記入</p> |
| 8 | <p>5-4 Read & Think 2 「ロボットとの暮らし」についての咲とアレックスの考えを理解することができる。</p> | <p>① Small Talk ② Oral Interactive Introduction 「ロボットとの暮らし」についての咲とアレックスの考えを理解しよう ③ 新出語句の練習 ④ 文法の確認 ⑤ 内容理解 ⑥ 本文の音読練習 ⑦ 確認問題と振り返り</p> | <p>「ロボットとの暮らし」についての咲とアレックスの考えを理解することができる。</p> <p>・確認問題 ・音読 ・振り返りの記入</p> |
| 9 | <p>5-4 Read & Think 2 「ロボットとの暮らし」についての咲とアレックスの考えに対して自分の意見を述べるができる。</p> | <p>① Small Talk ② Oral Interactive Introduction 咲とアレックスの考えに対して、自分の考えを伝えよう ③ ディーパと光太の考えの復習 ④ 自分の意見を関わらせる表現の確認 ⑤ 自分の意見をもつ ⑥ グループで議論する ⑦ 振り返り</p> | <p>「ロボットとの暮らし」についての咲とアレックスの考えに対して自分の意見を述べるができる。</p> <p>・意見を伝える ・振り返りの記入</p> |
| 10 | <p>5-5 Activity 1 「優先席に座ってもよい？」の議論の内容を聞き取り、自分の意見を述べるができる。</p> | <p>① Small Talk ② Oral Interactive Introduction 議論を聞いて、立場や主張を聞き取り、それに対する自分の意見を伝えよう ③ 新出語句の練習 ④ 内容理解 ⑤ スクリプトの音読練習 ⑥ 確認問題と振り返り</p> | <p>「優先席に座ってもよい？」の議論の内容を聞き取り、自分の意見を述べるができる。</p> <p>・意見を伝える ・振り返りの記入</p> |
| 11 | <p>5-5 Activity 2 「紙の辞書と電子辞書」について、相手の主張に関わらせながら、根拠をもとにして自分の考えを話すことができる。</p> | <p>① Small Talk ② Oral Interactive Introduction 「紙の辞書と電子辞書」について、議論しよう ③ 新出語句の練習 ④ 内容理解 ⑤ グループで議論する ⑥ 振り返り</p> | <p>「紙の辞書と電子辞書」について、相手の主張に関わらせながら、根拠をもとにして自分の考えを話すことができる。</p> <p>・振り返りの記入</p> |
| 12 | <p>パフォーマンステスト 「ロボットとの暮らし」について、相手の主張に関わらせながら、根拠をもとにして自分の考えを話すことができる。</p> | <p>「ロボットとの暮らし」について、議論しよう</p> | <p>「ロボットとの暮らし」について、相手の主張に関わらせながら、根拠をもとにして自分の考えを話すことができる。</p> |

5 本時のねらい

光太とディーパが話題にしているロボットができることを読み取り，ロボットの特徴についてわかりやすく伝えることができる。

6 本時の展開（本時の位置 4/12）

| | 学 習 活 動 | 【研究 2】教師の働きかけ |
|-----------|---|---|
| 導入 | <p>①帯活動 Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> What kind of robots do you like? <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">I like Pepper. It is very cute. It can talk to people, too...</p> | <ul style="list-style-type: none"> Small Talk の話題について ALT と JTE で短い会話をすることで，生徒に例を示すとともに話す内容を考える時間を与える。 |
| 展開 | <p>②導入</p> <ul style="list-style-type: none"> Oral Interactive Introduction を通して，本時の課題を理解する。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">二人が話題にしているロボットができることを読み取り，ロボットの特徴を相手にわかりやすく伝えよう</p> <p>③新出語句やフレーズの意味・発音を確認，練習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT に続いて発音する。 間接疑問文はフレーズとして意味を理解する。 <p>④光太とディーパの対話の内容を理解する（ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> 光太の知っているロボットはどんなことができるのか？ 歩いたり，話したり，ボールを蹴ったりすることができる。 <p>⑤本文の内容についてパートナーと Q&A を行う</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">Q1: What country is ASIMO made in? A1: It is made in Japan. Q2: What can ASIMO do? A2: It can walk, talk, and (even) kick a ball.</p> <p>JTE: What do you think of robots like this? Do you like them? ALT: I think they are great. They can help me... JTE: What do you think of robots like this?</p> <p>⑥本文の音読練習</p> <ul style="list-style-type: none"> strawberry reading, choral reading, buzz reading, phrase reading, blank reading, shadowing, reading race | <ul style="list-style-type: none"> ロボットについて ALT が JTE に伝えることで，本時の活動の見通しをもたせる。 新出語句や意味を理解しにくいフレーズをリストにし，ワークシートに位置づける。 必要な生徒に補助プリントを配付し，生徒が確実に内容を理解できるようにする。 本文内のどの表現から読み取れるのかを確認する。 黒板に質問と答えを表示し，出題する生徒のみが黒板に見えるようにする。 buzz reading で個別練習する時間を確保する。 phrase reading で教科書の表現を練習し，終末の活動に生かせるようにする。 様々な方法で音読練習を行い，練習回数を確保する。 黒板にロボットの動画を表示する。 |
| 終末 一〇分 | <p>⑦ペアで，黒板に表示されているロボットの特徴について相手に伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> 語数を数えながら相手の発話を聞く。 <p>⑧学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の振り返りを書く。 | <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><評価規準> 教科書の対話内容を理解し，ロボットの特徴についてわかりやすく伝えることができている。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【研究 1】終末の 10 分</p> <ul style="list-style-type: none"> ロボットの特徴について伝え合う。 学習の振り返りを書く。 |